

J F A 第 1 2 回 全 日 本 U - 1 8 フ ッ ト サ ル 選 手 権 大 会 茨 城 県 大 会 大 会 要 項

1. 名 称 J F A 第 1 2 回 全 日 本 U - 1 8 フ ッ ト サ ル 選 手 権 大 会 茨 城 県 大 会
2. 主 催 公 益 財 団 法 人 茨 城 県 サ ッ カ ー 協 会
3. 主 管 公 益 財 団 法 人 茨 城 県 サ ッ カ ー 協 会 フ ッ ト サ ル 委 員 会
4. 期 日 2 0 2 5 年 5 月 4 日 (日) 、 1 1 日 (日)
5. 会 場 県 立 坂 東 清 風 高 等 学 校 体 育 館 (坂 東 市) ※ 5 月 4 日 、 1 1 日
笠 間 市 民 体 育 館 (笠 間 市) ※ 5 月 4 日 (日)

6. 参 加 資 格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本協会」とする)に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル2種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとししない。

(2) サッカーチームの場合

- ① 日本協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」チームは同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 男女の性別は問わない。
- ③ 「女子」チームは、チームに所属する2007年4月2日以降、2013年4月1日以前に生まれた選手であること。
- ④ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとししない。
- ⑤ 高体連加盟チーム、および学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高専、第124条の専修学校、第134条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規定に準じる。

(3) 合同チームの場合

- ① 前項のチームで登録選手が少ない複数チームによる「合同チーム」の参加を認める。なお、主体となるチームの種別、人数は制限しない。「フットサルチーム」と「サッカーチーム」の合同も可能とする。
- ② 極端な勝利目的の合同チームではないこと。

(4) 都道府県大会、地域大会を通じて、選手は他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはフットサルチームとサッカーチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(5) 参加者は傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。

(6) 引率者は当該チームを指導・管理し、責任を負うことのできる20歳以上の者であること。

7. 参加チーム 12チームを上限とする。

8. 参 加 申 込

- (1) 参加申込にエントリーし得る人数は、1チームあたり24名(役員4名、選手20名)を上限とする。
- (2) 大会申込書兼登録票、プライバシーポリシー同意書、大会参加費振込確認書を添えて下記申込先へ電子メールで申込むこと。なお、大会申込書兼登録票はエクセルのままとしPDF等に変換しないこと。

【申込先】

公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会

2種担当 永井啓介

E-mail: nagai.keisuke@blue.ibk.ed.jp

【締め切り】

2025年4月18日(金)

(3) 選手、役員の追加および変更は3名を上限に認められる。その場合、第7条に定める参加資格を満たしていること。

9. 参 加 費 15,000円

【振込先口座】

銀 行 名 常陽銀行水戸駅南支店 [店番133]

口 座 名 茨城県サッカー協会フットサル委員会 宮川 直也

口座番号 普通預金 1122654

※振り込みは必ずチーム名で行うこと。

【支払期日】

2025年4月18日(金)

10. 大会形式

- (1) 予選ラウンド 12チームを3チームずつ4グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の4チームが大会2日目の決勝ラウンドへ進出する。順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち：3、引分け：1、負け：0とする。但し勝点合計が同じ場合は、以下の順序により順位を決定する。

①グループ内の得失点差 ②グループ内の総得点数 ③当該チーム間の対戦成績(i：勝点 ii：得失点 iii：総得点) ④下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告1枚 1ポイント (イ) 警告2枚による退場 3ポイント

(ウ) 退場 3ポイント (エ) 警告1枚に続く退場 4ポイント

⑤抽選

- (2) 決勝ラウンド ノックアウト方式により順位を決定する。

- (3) 参加チーム数によっては、大会形式の変更もあり得る。

11. 競技規則 大会実施年度の日本協会フットサル競技規則による。

12. 競技会規定 以下については、本大会で規定する。

- (1) ピッチサイズ 原則として、40m×20mとする。(会場により変更有)

- (2) 使用球 日本協会検定球のフットサル用4号ボール

- (3) ベンチの人数 ベンチに着席できる人数は、交代要員9名、役員5名を上限とする。ベンチ入り可能な役員5名については、当日試合出場しない選手は、あらかじめ承認を得て役員としてベンチ入りできる。但し、メンバー表に役員として記載すること。

- (4) 外国籍選手 ピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。準加盟チームについては、その限りとししない。

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム

- 日本協会の「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- 大会登録後は番号の変更及びユニフォーム色の変更は日本協会の登録変更承認を得ること。
- ユニフォームの広告表示については、日本協会の承認を得た場合のみこれを認める。また、大会当日は申請書のコピーを必ず持参すること。
- フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、大会当日に持参すること。
- ユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。ゴールキーパーについても同様である。
- 主審は対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立会いのもとにその試合で着用するユニフォームを決定する。
- 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することが出来る。
- ゴールキーパーのトラウザーの着用を認める。
- 選手は参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。番号は整数の1から99を使用するものとし、0は認められない。なお、1番はゴールキーパーのために用意される。
- フィールドプレーヤーとして登録された競技者がゴールキーパーとしてプレーする場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同色・同デザインで、かつ自身の番号が付いたユニフォームの着用を原則とする。但し、ユニフォーム決定時に承認された場合に限り、大会登録された他の色彩のユニフォーム(例えばゴールキーパー、またはフィールドプレーヤーのセカンドユニフォーム)の中から選択して着用することができる。なお、負傷や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在で、かつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断によりゴールキーパーのユニフォームを前途以外で代用することができる。
- ソックスにテープ、またはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。但し、ソックスの元の色彩が容易に判別できること。

- l. アンダーシャツやアンダーショーツ、またはタイツの色は問わない。但し、シャツの袖もしくはショーツの裾の外に露出して着用する場合、チーム内で同色のものを着用すること。なお、ゴールキーパーとフィールドプレイヤーは同色でなくても良い。
- m. ゴールキーパーの肘や膝に着用するプロテクターの色は問わない。但し、過度に大きなものであってはならない。
- n. その他のユニフォームに関する事項については、「ユニフォーム規定」に則る。
- ② シューズ キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズであること。なお、靴底の接地面が着色されているものは、ノンマーキング表示があり尚且つ施設側の許可が得られれば着用可とする。なお、ベンチ入り役員についても同様とする。
- ③ ビブス 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し着用しなければならない。また、チームは2色のビブスを準備し試合当日に持参すること。
- (6) 試合時間
 - ① 24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとする。
 - ② ハーフタイムのインターバルは3分間とする。(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)
 - ③ 参加チーム数によっては変更もあり得る。
- (7) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内に勝敗が決しない場合)
 - ① 予選ラウンド 引分け
 - ② 準決勝 PK戦により勝者を決定する。
 - ③ 決勝戦 6分間(各3分間からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合はPK戦により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ④ 試合が一方のチームの責に帰すべき事由のより試合開催不能、または中止の場合(不戦敗など)は、その責に帰すべきチームは0対5で敗戦したものとみなす。
- (8) 代表者会議、またはマッチコーディネーションミーティング(以下、MCM)の席で組合せ左側のチームが第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのかを選択する。なお、キックオフの選択は試合開始前のコイントスにより決定する。
14. 組合せ 公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会(以下、「本委員会」とする)において決定する。
15. 懲罰規定
 - (1) 本大会は日本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。なお、大会規律委員会は(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会とする。
 - (2) 当大会において異なる試合で警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (3) 当大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会委員会で決定する。
 - (4) 参加資格に違反、その他不都合な行為があった場合は、大会規律委員会に諮りその選手及びチームの処分を決定する。
 - (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、大会規律委員会が決定する。
16. 代表者会議 9時より行う。
17. 表彰 優勝、準優勝チームに賞状を授与する。
18. 関東大会

上位2チームは関東大会に出場する義務と権利を有する。

※優勝：茨城県代表枠・準優勝：開催県枠として出場する

期日 2025年6月8日(日)、22日(日)、29日(日)

会場 水海道総合体育館(常総市) ※6/8、6/22

取手グリーンスポーツセンター(取手市) ※6/29
19. 審判員 主審および第2審判は、公益財団法人茨城県サッカー協会審判委員会より派遣する。第3審判およびタイムキーパーについては、参加チームより選出する。
20. その他
 - (1) 大会登録選手は選手証を持参すること。選手証とは日本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証または登録選手一覧を印刷したものやスマートフォン・タブレット等の画面に表示したものを示す。

- (2) 予選ラウンドにおいてMCMは行いません。代表者会議の席でユニフォーム、およびビブスを決定します。正副のユニフォーム、ビブス(2色)を携行すること。
- (3) 決勝ラウンドにおいては試合開始予定時間の30分前にMCMを実施する。正副のユニフォーム、ビブス(2色)を携行すること。
- (4) 各試合30分前にメンバー表を大会本部へ提出すること。
- (5) 参加チームは、会場設営および撤収、試合の運営(オフィシャル、ボールパーソン等)について責任を持って行うこと。
- (6) ボールを使つての練習は、決められた場所以外禁止とする。また、体育館使用規定を順守しゴミはすべて持ち帰ること。
- (7) 本大会の主催者は参加者(選手、役員含む)の事故、傷害、障害、会場破損事故等について一切の責任を負わないものとする。チームまたは個人のスポーツ保険等に対応すること。
- (8) その他、大会要項に規定されていない事項については、本委員会において協議のうえ決定する。
- (9) 大会参加に要する経費は、すべて参加者の負担とする。

21. 問 合 せ 先

公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会

委員長 宮川 直也

携帯 090-4026-1117

E-mail niceshot1023@yahoo.co.jp

公益財団法人茨城県サッカー協会フットサル委員会

2種担当 永井啓介

携帯 090-9236-7187

E-mail nagai.keisuke@blue.ibk.ed.jp